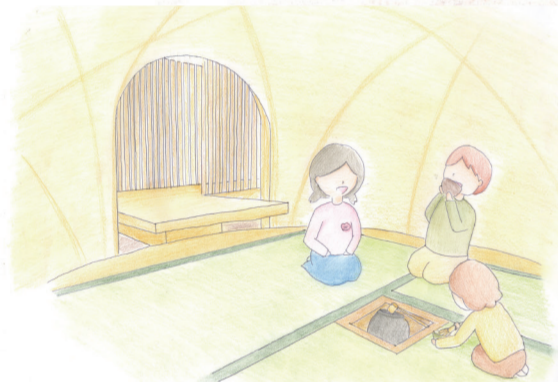
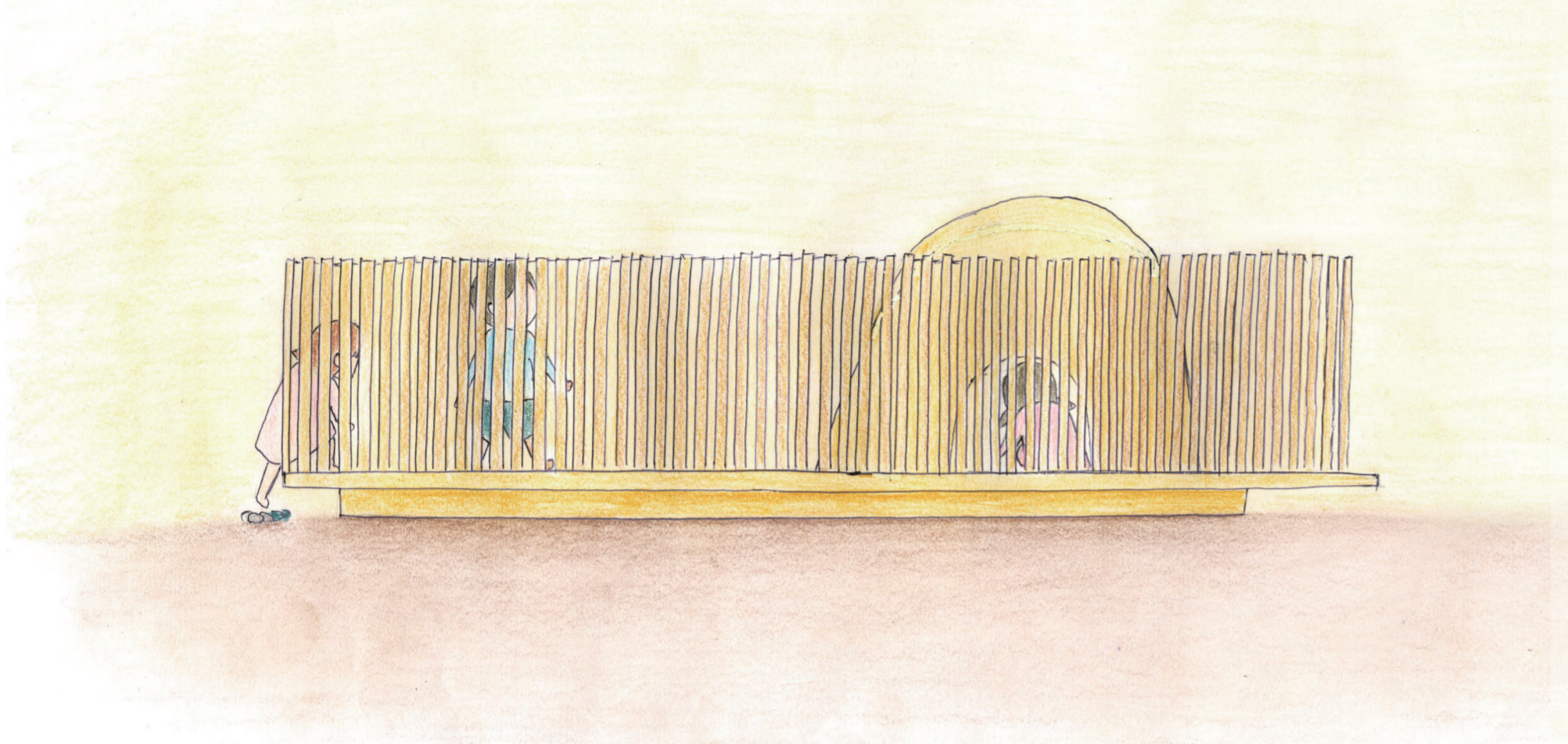


たく庵

子供の頃は好奇心が旺盛で、見たことがないものを実際に匂ったり触ったりして知ろうとする。その子供たちの性質を利用して、好奇心をくすぐるようなデザインにした。細く長く延びる通路はその先にある茶室の中の様子がうかがえないため、茶室にはいるまでの期待を膨らませる効果がある。通路を奥まで行くとほんのりと茶の匂いが漂ってきて、ぼっかりと空いた茶室への入り口が見える。茶室の中は細い通路とは対照的に和紙を使って丸くすることで、子供たちが入りたくなるような穴ぐらをイメージした。東西に延びる通路は組み立て式であり、両側の竹は小さな子供でも立てることができる。それにより子供たちは自分の手で「茶室」という空間の一部を作る体験ができる。通路の竹は七夕やお正月などといった日本独特の行事によって姿を変える。また、このままの形だけではなく和紙をとり外すと外の景色を見ながら茶会を開くこともできる。その様子を外から親が見たり、実際に家族や地域の人を招いて茶をふるまうことで大人と子供のコミュニケーションにもつながる。茶室を自分たちで作ったり、茶の立て方や作法を学ぶといった体験をきっかけに茶の世界や日本の文化に触れてほしい。



素材の匂いを感じながら、茶の文化を学ぶ



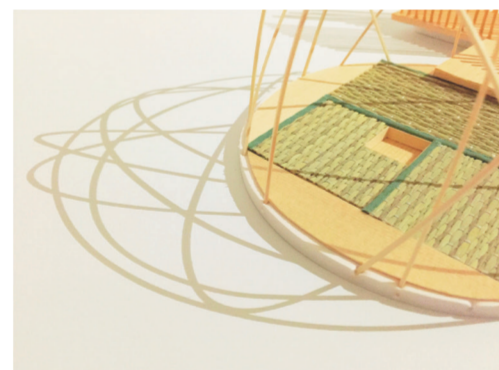
竹を切ったり色を塗ったりと使い方は様々



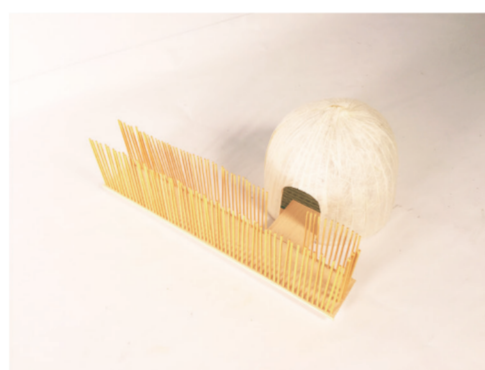
季節によって装飾を変えることもできる



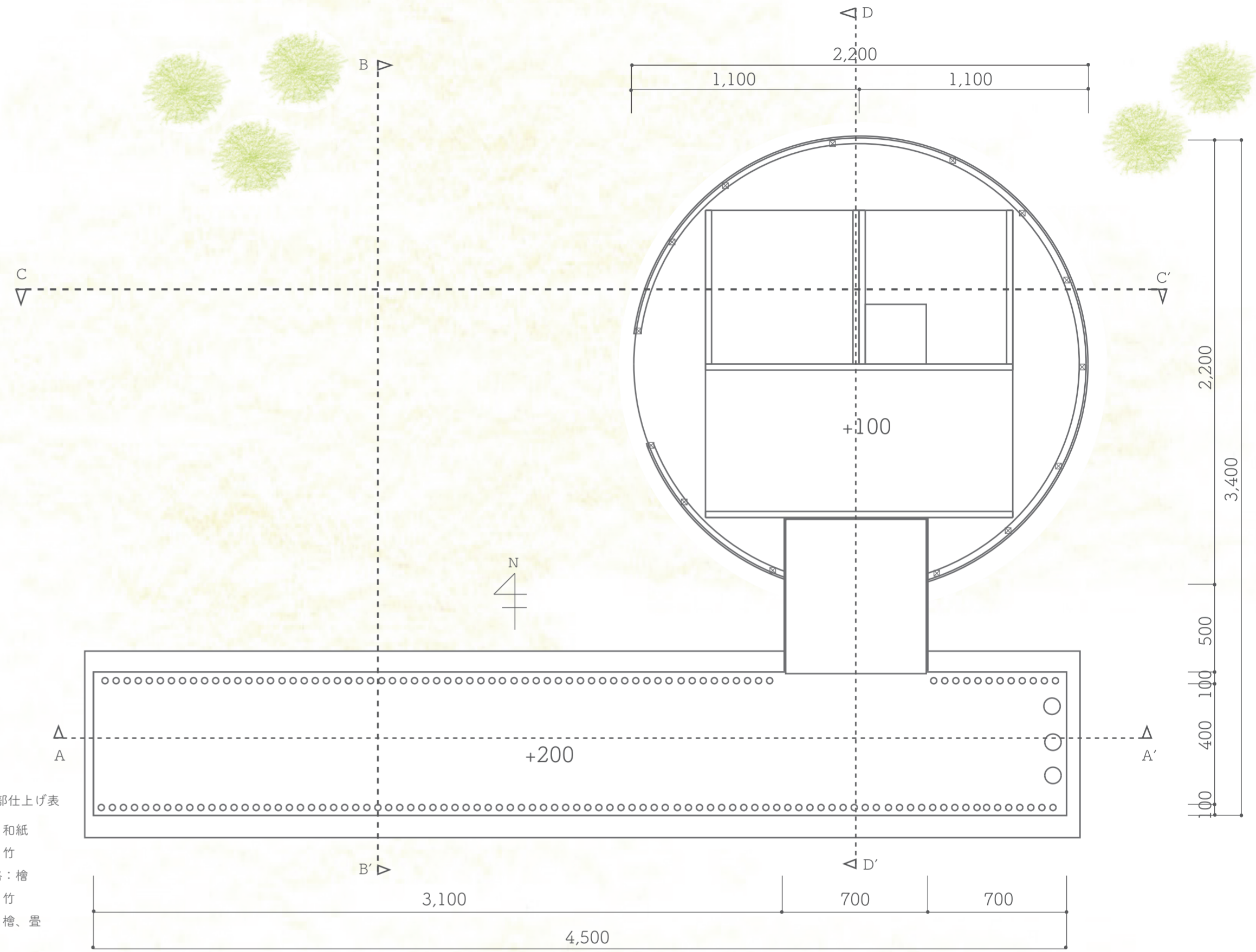
内部から見たにじり口の様子
茶室と通路の高さの違いで空間の変化を表す



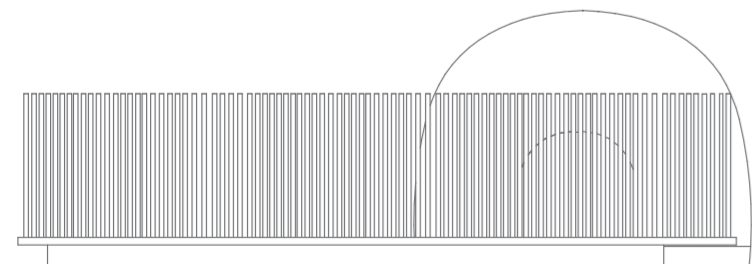
和紙を外して、開放的に使える



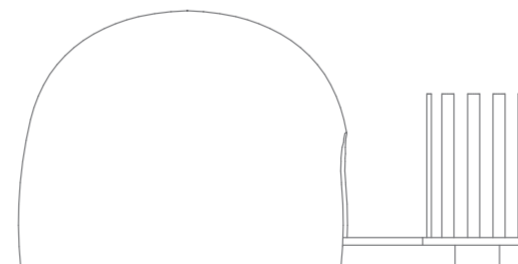
- 内部外部仕上げ表
- 壁：和紙
 - 軸：竹
 - 通路：檜
 - 柵：竹
 - 床：檜、畳



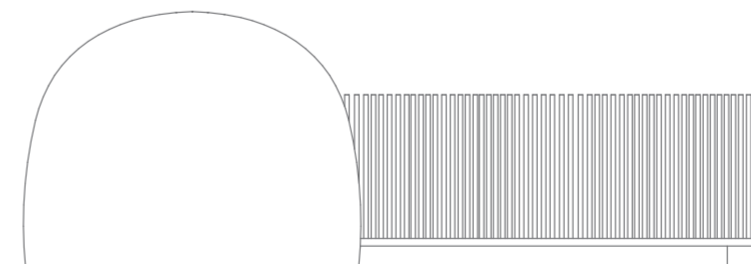
平面図 S=1:20



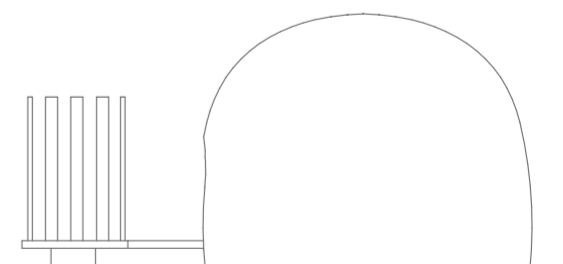
南側立面図 S=1:50



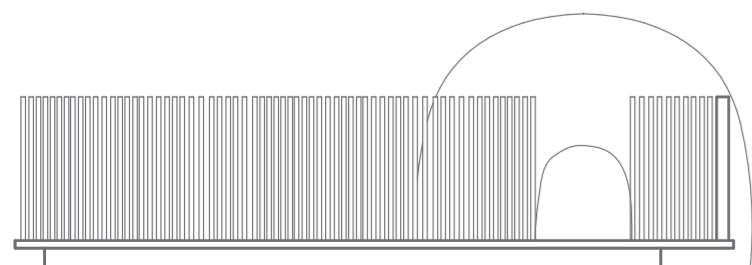
西側立面図 S=1:50



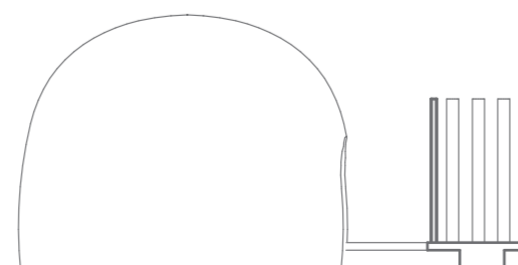
北側立面図 S=1:50



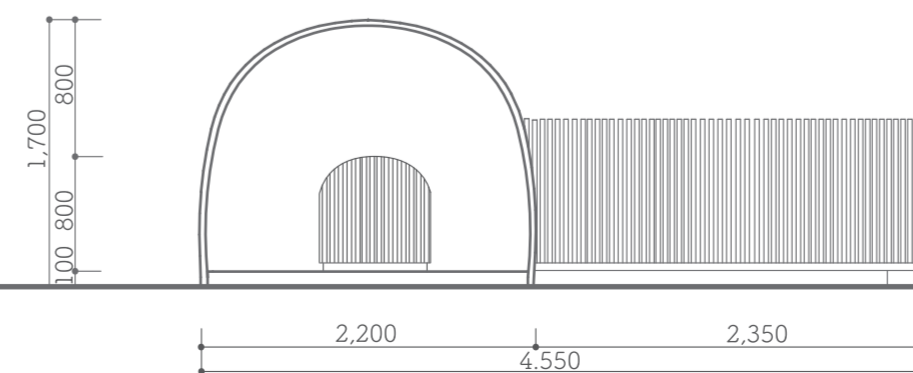
東側立面図 S=1:50



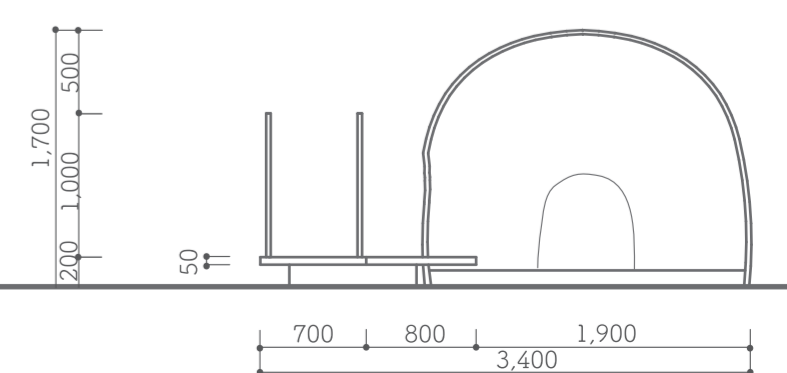
A-A' 断面図兼展開図 S=1:50



B-B' 断面図兼展開図 S=1:50



C-C' 断面図兼展開図 S=1:50



D-D' 断面図兼展開図 S=1:50